ホットな情報をお伝えします

総福研 fax news 200924

トピックス

指導監査ガイドラインが改正されました

～積立金・引当金等についても説明が追加されています～

◆厚生労働省は９月11日、「指導監査ガイドライン」の改正を内容とする「『社会福祉法人指導監査実施要綱の制定について』の一部改正について」を子ども家庭局長、社会・援護局長、老健局長の連名で通知しました。具体的な内容の一つとしては、定款及び報酬の支給基準の公表について、財務諸表等電子開示システムに記録する方法によってもインターネットの利用による公表が行われたとみなされることが着眼点に明記されました。

また、評議員会・理事会の重要性に鑑み、評議員が評議員会を、理事・監事が理事会を２回以上連続して欠席した場合は原則として文書指摘の対象となりますが、これらの会議において決議の省略が行われた場合は、出席とみなして差し支えない旨が明記されました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、これらの会議で決議の省略が行われることが増えたと思いますが、その場合は文書指摘とならないこととなります。

引当金については、全ての要件に該当する場合には計上が必要であることも明記されました。特に、役員に対し支払う退職慰労金は、在任期間中の職務執行に対する後払いの報酬と考えられることから、役員報酬と同様の手続を経る必要があります。支給額が役員退職慰労金に関する規程（役員報酬基準）により合理的に見積もることが可能な場合には、将来支給する退職慰労金のうち、当該会計年度の負担に属すべき金額を当該会計年度の役員退職慰労引当金繰入に計上し、負債として認識すべき残高を役員退職慰労引当金として計上することとされました。

その他、諸々の改正が行われていますので、以下の通知をご確認ください。（事務局）

◎「社会福祉法人指導監査実施要綱の制定について」の一部改正について
https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3020/shafuku-oshirase/documents/20200911shidokansajisshiyoukoukaisei.pdf

百歳以上高齢者は8万人超

～高齢者人口(65歳以上)は3,617万人～

◆９月15日は「老人の日」で、毎年厚生労働省が百歳以上高齢者の人数を公表していますが、昨年の７万1,274人から今年はいきなり９千人増の８万450人となりました（参考資料の図表１参照）。

急増した理由の一つとしては、今から100年前の大正９(1920)年、出生数が初めて200万人に達したことが考えられます。第一次ベビーブームは昭和22(1947)～24年で年間の出生者数は250万人以上、第二次ベビーブームは昭和46(1971)～49年で年間の出生者数は200万人以上ですから、1920年も「第ゼロ次ベビーブーム」と呼びうる時期に入ったということができます。その後戦争や感染症等もありましたが、今後も百歳以上人口の増加は進むと予測されています。

◆また総務省統計局では、「敬老の日」（９月21日）を迎えるに当たって、統計からみた我が国の65歳以上の高齢者のすがたについて取りまとめました。

総人口が減少する中で、高齢者（65歳以上）人口は3,617万人と過去最多、総人口に占める割合は28.7%と過去最高で、世界を見てもイタリア(23.3%)、ポルトガル(22.8%)、フィンランド(22.6%)などを引き離して最高となっています。

高齢就業者数は16年連続で増加して892万人と過去最多、就業者総数に占める高齢就業者の割合も13.3%と過去最高、業種としては「農業，林業」が52.2%、次いで「不動産業，物品賃貸業」が26.4%と高く、「医療，福祉」は10.4%となっています。

労働生産人口が減少する中、社会福祉事業においても高齢者が働きやすい労働環境や労働条件、研修制度等を整備して、増加する需要に見合う人材の確保・育成を目指すべきと思います。（事務局）

新型コロナとインフルエンザ

～基本的な感染予防対策は同じ～

◆秋分の日を過ぎ、暑さもようやく一段落してきました。この時期になると次第に気になるのがインフルエンザです。厚生労働省においても毎年36週目（概ね９月初め）からインフルエンザの発生状況の公表を始めます。昨年のこの時期（第37週まで）には沖縄県等で既に流行していたこともあり9,551件の報告例がありましたが、今年はまだ７件と、昨年を大きく下回っています。

インフルエンザの予防策としては主に①マスクの着用、②手洗い、③免疫力をつける、④加湿、⑤人混みへの外出を控える、⑥ワクチンの接種、の６つが挙げられます。これらを見て、新型コロナウイルスと予防方法が同じだと感じたと思います。ともにウイルス性感染症なので、基本的に同じ対応となります。今年インフルエンザの報告例が極端に少ないのも、新型コロナウイルス対策として全国民がマスク、手洗いを励行し、外出を控えている効果と言われています。

参考資料の図表２は、平成29(2017)年から今年４月までのインフルエンザによる死亡者数と、新型コロナウイルス感染症による死亡者数を月別に示したものです。今年のインフルエンザによる死亡者数は、過去３か年に比べて３分の１程度に抑えられていることが判ります。ただし新型コロナウイルスによる死亡者数が９月21日現在で1,507人となっています。

新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬はまだ開発されていないことから今後の感染状況や死亡者数はまだまだ予断を許さない状況ではありますが、インフルエンザに対する予防策を徹底することにより、併せて新型コロナウイルス感染症の拡大も抑制されることを望みます。（事務局）

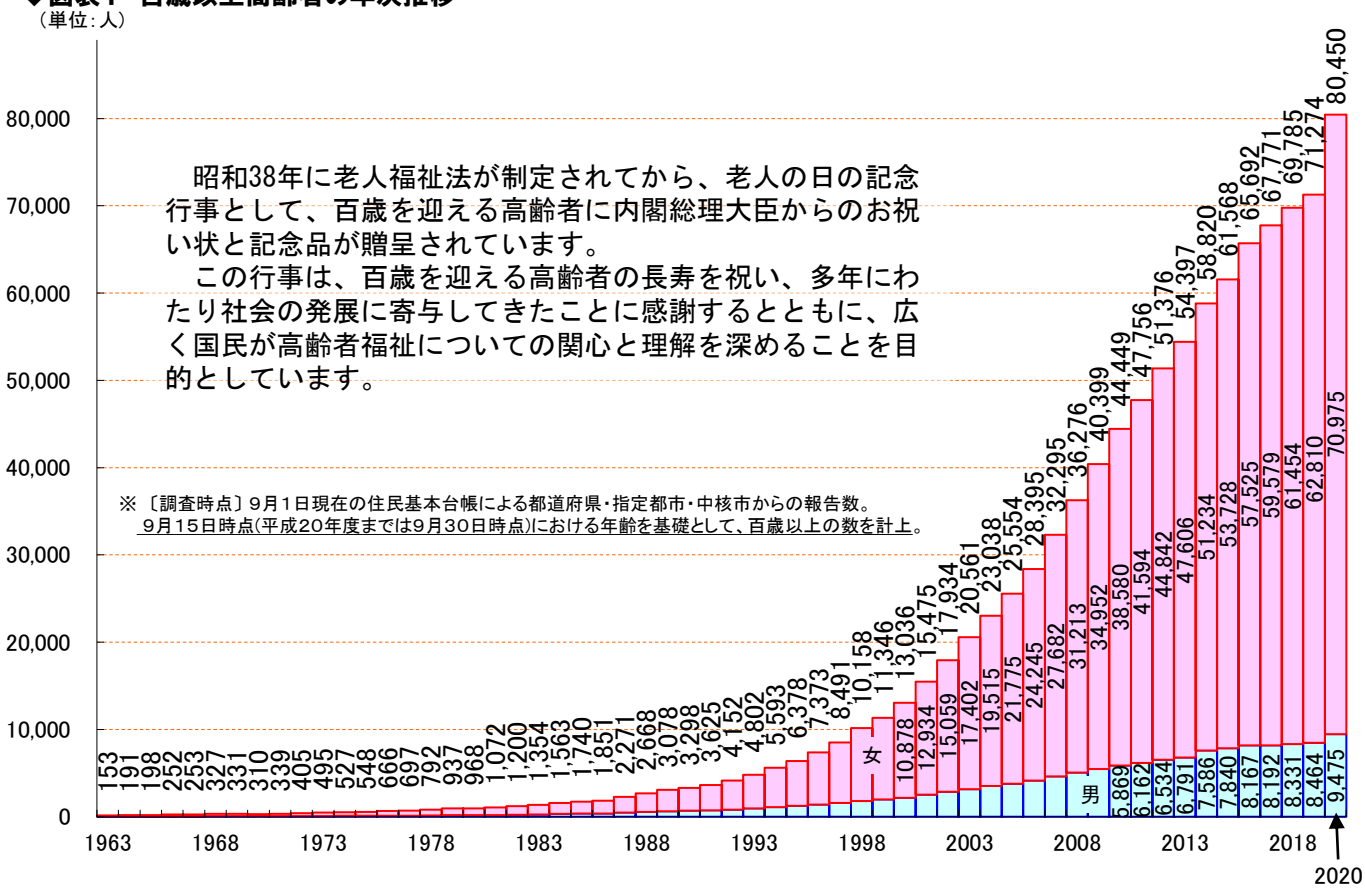
お知らせ

◆今年の全国大会は、11月６日(金)に和歌山県「ホテルグランビア和歌山」にて開催されます。会員様は無料、会員関与先様は５名様まで無料(６名様以降は8,000円/名)でご参加いただけます。なお、本年はオンラインでのご参加も可能です。また、新型コロナウィルスの影響により例年開催しておりました情報交換会は実施を致しません。開催案内は近日中に発信させていただきますが、是非とも日程をお取りください。

◆ FAX NEWS（PowerPointにて制作）は下記URL総福研ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞからﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞしていただけます。どうぞご利用下さいませ。◆

一般財団法人
総合福祉研究会
本部事務局
ＴＥＬ：03-5961-6061
ＦＡＸ：03-3915-2661
〒170-0004
東京都豊島区北大塚1丁目13-12 全経会館ビル2階
E-Mail info@sofukuken.gr.jp
ＵＲＬ http://www.sofukuken.gr.jp/

◆図表1　百歳以上高齢者の年次推移



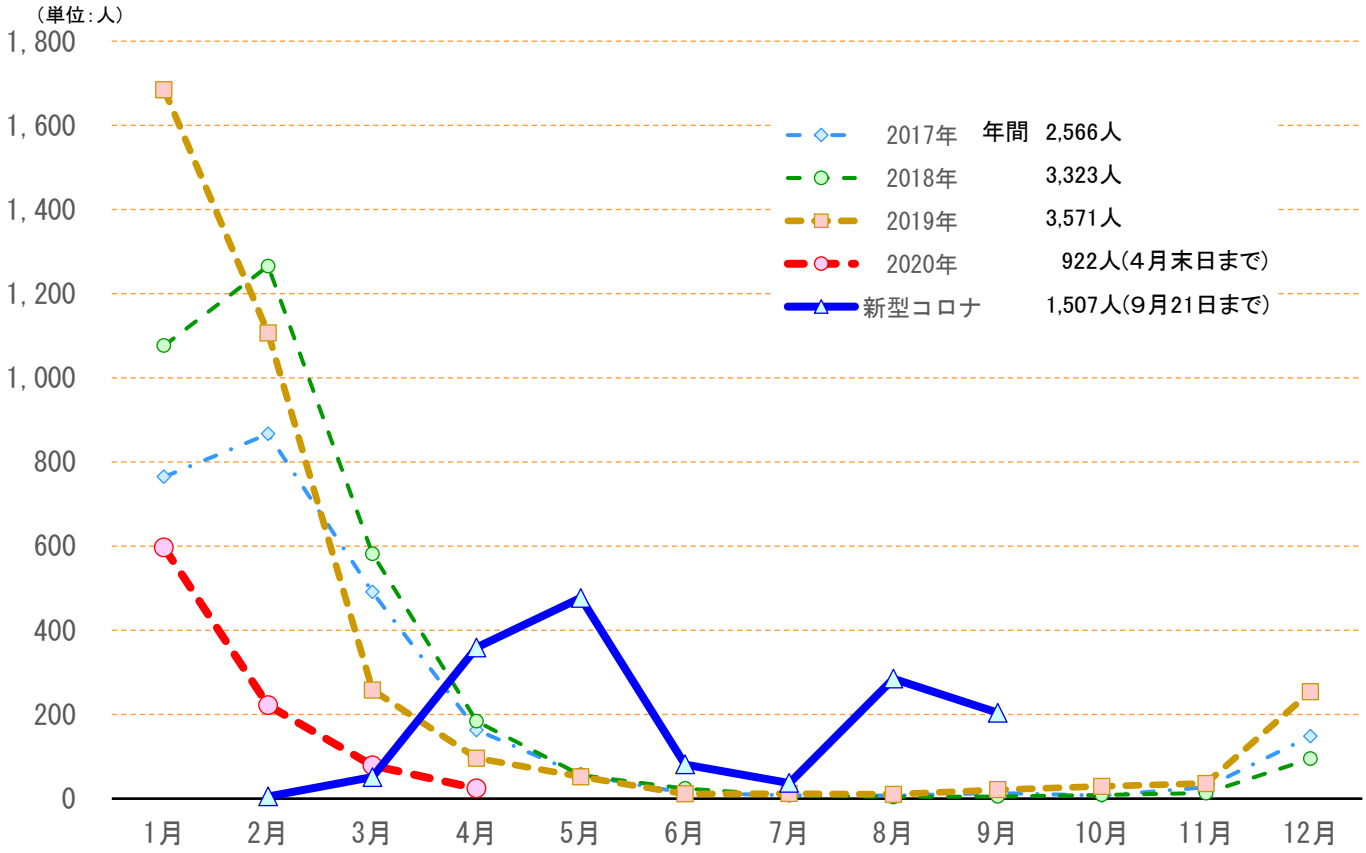
昭和38年に老人福祉法が制定されてから、老人の日の記念行事として、百歳を迎える高齢者に内閣総理大臣からのお祝い状と記念品が贈呈されています。

この行事は、百歳を迎える高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するとともに、広く国民が高齢者福祉についての関心と理解を深めることを目的としています。

※〔調査時点〕9月1日現在の住民基本台帳による都道府県・指定都市・中核市からの報告数。
9月15日時点(平成20年度までは9月30日時点)における年齢を基礎として、百歳以上の数を計上。

資料：厚生労働省集計から

◆図表2　インフルエンザと新型コロナウイルス感染症による月別死亡者数



資料：厚生労働省「人口動態調査」及び「新型コロナウイルス感染症について(オープンデータ)」から作成